

令和6年度第5回日野町地域公共交通会議 会議議事録

令和7年2月4日（火）

13時30分～15時05分

日野町林業センター ホール

出席委員

国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局、滋賀県東近江土木事務所、日野町区長会、日野町老人クラブ連合会、日野町身体障害者更生会、社会福祉法人日野町社会福祉協議会、一般社団法人滋賀県バス協会、一般社団法人滋賀県タクシー協会、近江鉄道株式会社鉄道部（委員代理）、近江鉄道株式会社自動車部、近江タクシー株式会社、日野町副町長、日野町教育委員会教育長、日野町政策監、日野町総務主監、日野町産業建設主監、日野町厚生主監、日野町教育委員会事務局教育次長

事務局

交通環境政策課

欠席委員

滋賀県土木交通部交通戦略課

東近江警察署交通課

議事要旨

1. 開会

2. 協議事項

(1) 町営バス湖南サンライズ線の廃止およびダイヤ改正について

- ・湖南サンライズ線の廃止について、廃止を判断した経緯、代替手段の説明
- ・町営バス平子・西明寺線の新規経路案、鎌掛線のダイヤ改正案について説明

【意見・質問】

○委員

- ・近江鉄道、近江タクシーともに乗務員が大変な中で、利用実績に応じた運行を上手に検討している。
- ・利用者のヒアリング調査において、年齢層や性別など、どのような方のご利用があったか、参考に教えてほしい

○事務局

- ・利用者 28 人のうち男性 6 人、女性 22 人、70 歳以上が 8 人、20 歳未満が 6 人でありそのほとんどが高校生であった。そのほか、成人の方の利用であった。
- ・例えば、70 歳以上の日野町福祉乗車証のご利用の方は、1 週間のうち 2 回利用される方がいた。
- ・土曜日は高校生、たまたま出張で利用した方、通勤利用の方など、多様な方の利用があった。福祉施設の方には、定期的に利用されている。

○委員

- ・多くの子どもたちが通学に公共交通を利用しており、鎌掛線、平子西明寺線のダイヤ改正で影響がある。
- ・鎌掛線について、現在はチャーターバスという形で運行しており、地域も見守りながら小学校へ送り出していた。これからは、一般の方もご乗車される路線バスとなるため、一般のマナー教育の場として子ども達へ教育したい。チャーターバスよりも一般の路線バスの方が、マナーが良くなると感じており、お年寄りの方、お身体が不自由な方へ席を譲るなど、学習の場として捉えたい。
- ・平子西明寺線について、平子が 1 名、西明寺が 2 名、北畑が 4 名、蔵王が 7 名、合計 14 名の児童が利用する。ワゴン車タイプに代わることで平子の児童の乗車時間が早くなるため、鎌掛の保護者説明の時同様、交通環境政策課、教育委員会、学校の三者が一緒になって、保護者へは丁寧な説明会を開催してほしい。
- ・保護者の理解も必要であるが、児童の出発時間が早くなりすぎても問題であり、また、先生方の働き方改革の中で児童が早く学校に着き過ぎても問題であり、程よい時間をこれから協議の中で決めてほしい。

○事務局

- ・委員から話があった通り鎌掛線のダイヤ改正は、これまで児童がチャーターバスで通学していたところを公共交通で通学できるようにダイヤ改正を行うものである。
- ・近江鉄道に協力してもらい、乗り方教室などの場を持つ予定である。
- ・平子西明寺線のダイヤ改正にあたり時間についてはなるべく影響のない時間を考えていきたい。

○会長

- ・平子西明寺線のダイヤ改正は、時間的な制約があるが最大公約数をしっかりと協議して決めてほしい。

⇒協議事項（１）について出席委員全員承認

（２）チョイソコひのの営業区域の拡大について

- ・町営バス桜川線沿線地域にチョイソコひのの運行区域を拡大することに伴い、チョイソコひのの営業区域の拡大を行うもの。
- ・現状、日野町の西部のみが営業区域になっているが、これを日野町全域に拡大する。
- ・営業区域は拡大するが、運行地域が全町内に広がることではない。桜川線沿線地域と前回の公共交通会議で説明した交通空白地（木津・寺尻・松尾一区・大谷・青葉台）について運行区域を拡大する。また、目的地として湖南サンライズ沿線地域でバス停が無くなる施設と、西大路公民館、鎌掛公民館、西大路小学校も追加する。
- ・西大路小学校は、ワゴン車の乗継の利便性を確保するために停留所として新設するもの。
- ・デマンドタクシーの車両をチョイソコひのの運行で利用するため、車両が１台増える。

【意見・質問】

○委員

- ・チョイソコひのの停留所の新設については都度公共交通会議で諮らないといけないものか。住民からの要望があれば臨機応変に対応できるものか。

○事務局

- ・チョイソコひのの停留所について、この会議で調える必要はない。
- ・住宅地停留所は、その運行区域拡大前の地域において、運行区域拡大時に合わせて新設していく。

- ・目的地停留所は、整理が必要であるが、すぐ近くに停留所がないなど考慮した中で検討していく。

○会長

- ・これまで（住宅地停留所を）設置してきた自治会については設置基準があると思うがどうか。

○事務局

- ・概ね 100m 間隔で 1 か所の停留所を設置している。ただし、車が離合できない場所などは停留所が設置できないため、集落によっては、道路に面している場所に設置するなど、地域によって異なっている。

- ・住宅地停留所については利用状況によって、停留所の移動、新設など柔軟に対応している。

○委員

- ・町民に使ってもらうことが重要であり、住民の意見を聞きながら停留所を検討してほしい。

○副会長

- ・目的地停留所が 6 か所増加しており、公共施設と思われない施設もあるが、どのように決定したのか。

○事務局

- ・白寿荘については、湖南サンライズ線のバス停が無くなることによる措置である。ばれっとしがつについては、子ども食堂を運営されているが、子どもが来ることができないとの要望があったため追加した。

○委員

- ・椿野台、五月台に停留所はあるのか。

○事務局

- ・町営バスの停留所はあるが、チョイソコひのの停留所はない。

- ・日野地区に運行区域を拡大する時にチョイソコひのの停留所を設置することになる。

○会長

- ・営業区域を日野町全域に拡大していくということは、順次町内全域に運行区域を拡大していくのか。

○事務局

- ・今後拡大していく予定である。

○委員

- ・必佐地区の区長会への説明時にも住民から意見があったが、チョイソコが町全域に拡大できると、病院など直接行けて便利であるため、チョイソコを充実してほしい。

○委員

- ・営業区域の拡大となるので道路運送法の申請をしてほしい。
- ・フィーダー補助金を考えているのであれば、地域公共交通計画の更新も必要になるので、検討し間に合うように申請してほしい。
- ・日野町では、公共交通の再編において、地元の方と親密にご意見を聞いて進めていることが分かる。公共ライドシェアも実証実験しているが、公共交通を利用しないと無くなってしまうことについて、地元の方へも共有し、1週間に1回でもご利用してもらおうなど、地元の方にも公共交通を残すことに協力をしてもらいたい。

○会長

- ・住民へ周知すると同時に、公共交通が生きるか死ぬかは、住民の利用に関わってくることをしっかりと伝えていくことが重要と考える。

○事務局

- ・デマンドタクシー（試行運行）については、チョイソコひの運行区域の拡大に伴い、廃止をする。
- ・廃止日は、車両をチョイソコひので利用するため、手続きの関係上、2月28日とする。

○会長

- ・デマンドタクシーは、バスが運行できない場所などで運行していたが、チョイソコの拡大に伴って廃止という説明である。
- ・目的地まで直接行けずに乗換が前提であったため、利用者が大変少ない状況であった。

○委員

- ・この春から、バス車両が1台少なくなる。将来、チョイソコを町全域へ拡大すると、路線バスが廃止になるのか。
- ・町営バスの台数が減少し、チョイソコの台数が増加するのか。

○事務局

- ・路線バスの廃止・減便について、今後、チョイソコの拡大に伴い、町営バスの平子西明寺線、鎌掛線に影響がある。ただし、学童輸送を担っているため、直ぐにバス廃止は出来ないと考えている。チョイソコエリアを拡大しながら、バスの運転手不足に対応して、路線再編を検討していき

たい。また、チョイソコも需要が多い場合は台数が増加する場合もあると考える。

○会長

- ・バス1台で複数の路線を運行しているため、バスの台数を簡単に減らすことはできない。例えば西大路地区のように、小型ワゴンに転換すると様々な影響があるということになる。調整しながら進めていくことになる。

⇒協議事項（2）について出席委員全員承認

3. 報告事項

（1）チョイソコひの運行実績について

- ・令和6年12月までのチョイソコひの運行実績に基づき報告
- ・1日あたりの利用件数が増えてきており、最近では30件近くの日もある。資料では22.2件となっているが、これは開始からの平均である。
- ・利用者も増えてきている状況。

（2）日野町公共ライドシェア実証実験の運行状況について

- ・1月18日から2月2日までの土日6日間の利用実績について報告
- ・日野町公共ライドシェア実証実験について、運行した6日で15件、25人のご利用があった。そのうち、チョイソコ非会員が8件である。
- ・近江鉄道全駅で実証実験の案内を掲載するなど、周知について協力してもらっている。
- ・アニメの聖地となっている旧鎌掛小学校へのアクセスについては、自転車、徒歩移動が多くなっている。そのため、観光客にも利用していただけるよう、旧鎌掛小学校スタッフによる韓国語・中国語への通訳での案内をお願いしている。
- ・2月9日からひなまつり紀行を開催し、観光協会にも周知の協力をいただいております、あわせて日野町内の観光に活用してほしい。

【意見・質問】

○会長

- ・チョイソコの利用が伸びてきた要因や課題は何か。

○事務局

- ・チョイソコひのは運行地域が拡大するにつれ、口コミで広がり、利用も増加していると考えて

いる。

- ・利用者目線での課題は、特に当日や午前中において希望した時間に取りにくい。
- ・予約を毎回とるのが面倒、8時から17時しか運行がない、土日祝日に運行していない、町外からの帰りがないという点もある。
- ・町目線での課題は、チョイソコひのがまだ十分認知されていない、乗合率が低い点が挙げられる。
- ・愛知県の先進例では1.45、竜王町では1.6となっていることから当町でも乗合率を高めていきたい。
- ・そのための取組としては、予約を早めにしていただく周知、予約が減る午後予約の依頼、降車乗車時間を2分から1分へ変更、また同乗の条件として3分以内の同じ方向の予約であれば同乗としていたものを4分以内でも成立するように広げた。
- ・周知については出前講座など他、あわせて利用者がスマホで予約できるよう、スマホ教室も検討していきたい。
- ・土日祝日については公共ライドシェアも組み合わせていきたい。

4. その他

5. 閉会

以上